

2003年1月22日  
丸勝産業株式会社  
川鉄テクノロジーサーチ株式会社

## シリコン系脱酸素剤の、国内初の商品化成功について

建設用資材の販売・施工を手がけている丸勝産業（株）と、JFEグループの川鉄テクノロジーサーチ（株）は、2000年春から脱酸素剤の共同開発を行なってまいりましたが、このたびシリコン系脱酸素剤を共同で開発し、国内で初めて商品化に成功いたしました。（商品名：オートレス Si(O<sub>2</sub> Less Si)）(共同特許申請中)

脱酸素剤は、大別しますと無機系と有機系の2種類があります。無機系脱酸素剤の主材料は鉄粉で、価格は安いのですが、最近、食品業界で盛んになっている、異物混入防止のための金属探知機に反応するという欠点があります。他方、有機系脱酸素剤は金属探知機には反応しないものの、比較的高価であるという問題点があります。

今回、製造・販売される脱酸素剤は、主材料は無機系のシリコンを主材料としており、金属探知機に反応することがなく、かつ有機系に比してかなり安価となっており、ユーザーにとって利用しやすいものとなっております。また、材料はシリコンを含む無機物、有機物で構成されており、有機系に比べて安全性が高く、誤食しても人体に影響はありません。

丸勝産業では、このシリコン系脱酸素剤を製造するため、昨年12月、千葉市花見川区に自社工場を建設し、このほど本格稼働を開始いたしました。オートミキサー、自動充填包装機、高速巻取り装置、高速折り畳み装置などを設置し、その生産能力は月産60トンとなっております。

国内販売体制といたしましては、食品業界との関連が深い東洋ロジスティクス株式会社（千葉県船橋市）が総代理店となり、全国的な販売展開を推進します。また、海外では、食品会社に強いルートを持つ大福産業株式会社（東京都杉並区）が総代理店となり、当面、中国、東南アジアを中心に販売を展開する予定です。

今後1年間で5億円、3年後にはチタン系の脱酸素剤と合わせて30億円の売上をめざしております。

なお、このたびのシリコン系脱酸素剤の開発・商品化にあたっては、(財)千葉県産業振興センターおよび東葛テクノプラザ（千葉県柏市）に多大の支援を受け、まさに産官一体となった開発が成功したと言えます。

**【参 考】**

丸勝産業株式会社

本 社： 千葉県船橋市湊町 2 - 1 2 - 4

工 場： 千葉県花見川区犢橋（こてはし）町 1 6 3 0 1 2

東葛テクノプラザ研究室： 千葉県柏市千葉県柏市柏の葉 5 - 4 - 6 3 0 7 号室

代表取締役社長： 中澤 宏

売上高： 5 8 7 百万円(2002 年 7 月)

主な事業： 建築資材販売、工事（デッキ工事）、チタンタンク・ボトル製造販売、  
脱酸素剤製造販売

川鉄テクノリサーチ株式会社

本 社： 東京都千代田区内幸町

事業所： 東京、千葉、水島、阪神、知多、長沼

代表取締役社長： 角山 浩三

売上高： 7 , 8 8 8 百万円(2001 年度)

主な事業： 金属・非金属などの分析、技術情報・特許情報の調査、技術のコンサル  
ル・研究・開発など

**【問合せ先】**

丸勝産業(株) 脱酸素剤事業部

三隅(みすみ) 公二 TEL: 0 4 7 - 4 3 7 - 3 4 1 1

以 上